



## 会議の概要（主な発言等）

### 1 開会

### 2 部会長の選任

- ・事務局案のとおり、第四北越銀行を部会長とすることで承認を得た。

### 3 議題1) 戦略部会の構成・主な検討テーマ・検討成果の例

- ・事務局より説明。

#### 議題2) 戦略部会での検討事項に関する意見交換

・まず初めに、情報発信部会で何をすべきか、どこを対象に訴求をするべきかを考える必要がある。また現在の発電が内燃力機関によるものであり、火力発電の仕組みや島外からの燃料に頼っていることを島民に理解いただき、目標とするエコアイランドとのギャップや現状の問題を認識していただくことが必要である。島民全体の意識啓発が情報発信部会の目指すところと考えているが、それに向けて弊社も協力していきたい。

・最初は全体像やイメージについて共通認識を持つことが重要だと思う。また、具体的に事業や取組を進めるためには、現状のエネルギー量や取組イメージを絵として示すなど、現状把握に加えて将来の目標像を理解することが重要であろう。佐渡では観光のほか、島のブランド化や防災がポイントとなるが、それらが将来像のイメージに加わると良い。

・島内には3つの観光案内所があり、相川地区ではクリーン活動を進めているが、島内全体に波及していければと思う。また、脱炭素を加えた観光の企画商品を作れればと考えている。

・佐渡をモデルに他の地域をリードしていくような情報発信が出来ればと考えている。島内向けには代替エネルギーや省エネを実行していくためのコンテンツの発信をしていきたい。特に小中学生などの若年層向けのツールの作成や、エコアイランドとしてのブランド化を図るための取組を進めていくとともに、観光振興に繋がるような情報発信を進めていければと思う。

・脱炭素やエコといったキーワードで活動されている自治体は多いが、実際の取組について提示されているものは少ないのが実態である。今後は、実際の取組について、情報発信のスタートとして取り上げて開示していくことも重要と思う。

・観光商品のトレンドは、量販型からテーマ型へ移行しつつあるが、脱炭素に関して各商品に組み込めると良いと思う。具体には、エコツアー、教育事業、電力カードなどが対象となると思う。現状の取組について共有しながら情報発信の方法を考えたい。

- ・個々ではなく連携しながら観光関連の商品企画をしていければと思う。